

結婚 1 年目が分かれ目？ 女性は「結婚 1 年目」に離婚を考えるが、

離婚を「絶対にしたくない」男性は、女性の 4 倍以上！

～離婚後一番の不安は「生活費」で『芸能人妻の仕事復帰は離婚の前触れ?』も頷ける結果に～

厚生労働省が発表している人口動態統計によると、3 月は 1 年のうち最も離婚件数が多い月。一般的に男性より女性の方が、離婚をはじめとする様々なライフイベントによってライフスタイルが変わりやすいと言われていす。また、その際には何らかのリスクが発生します。保険ショップ『保険クリニック』は、公式ホームページ新コーナー「女子のホンネ会議室」の第 3 弾のテーマとして、一般の既婚女性 500 名に離婚をはじめとする女性の人生のリスクについての WEB アンケートを実施しました。

■一般既婚女性への調査結果概要

- ・既婚女性 500 名のうち、**3 人に 1 人は、現在の結婚相手と離婚を考えた事がある**と回答、そのうちの **20% はそれが結婚 1 年目**でした。
- ・離婚を考えた原因は、「**価値観・性格の不一致**」「お金・仕事関係」「嫁姑・家族関係」の順でした。
- ・離婚を考えていても、その対策は約 19% しかしておらず、その 80% 以上は「貯蓄」でした。
- ・自分の手元があれば離婚できると思う金額は、**平均約 1,500 万円、最も多い回答は 1,000 万円**でした。
- ・**離婚で不安な事は「生活費」が 399 人(約 80%)**と最も多く、「子供への影響(227 人、約 45%)」と差が出ました。
- ・離婚以外の女性に起こり得る心配なリスクは、「**収入の減少や失業**」「健康」「子供の教育費」の順でした。
- ・様々なリスク回避のための対策をしているのは約 17% で、貯蓄が最も多い対策でした。

■社員アンケート、女性社員座談会概要

- ・アイリックコーポレーションの社員を対象にしたアンケートによると、離婚についてのイメージは、女性社員の「**仕方ない(39.3%)**」「お互いが幸せならいい(28.6%)」「子供がかわいそう(21.4%)」に対して、男性社員は「**絶対にしたくない(31.1%)**」「子供がかわいそう(38.9%)」「お互いが幸せならいい(20.0%)」でした。
- ・心配なリスクは、他を大きく離して「**親の介護**」「老後の生活」「収入の減少や失業」「健康」「自分の介護」に集中しました。
- ・リスクに対しては女性社員の 60% 近くが対策をしており、保険が最も多い対策でした。
- ・両アンケートを基にした女性社員による座談会では、リスクに備える方法として、まず**ライフプランを作成**し自分や家族にとって何がリスクになり得るかを洗い出し、それが発生する時期やリスクの大きさ(必要金額)に応じて早くから対策をすることが挙がりました。

■働く女性のためのセミナー開催のご案内

20 歳から 60 歳までの女性の就業率約 70%、共働き率約 54% の時代。結婚・出産・仕事…女性の生き方は多様化しており、就職してから老後まで、女性だから起こりうる様々なリスクがあります。そんな様々な女性のリスクに立ち向かうため、自分で備える方法を様々なリスクの事例を交えて伝授いたします。

セミナー名：「**これだけは知っておきたい 働く女性の生活設計のリスク**」

講師：畠中 雅子

日時：3 月 12 日(木) 19:00～21:00

会場：パレスサイドビル マイナビルーム 2 階 U (東京都千代田区一ツ橋 1-1-1)

費用：2,000 円 (先着 30 名限定 無料)

詳細・予約：<http://www.hoken-clinic.com/seminar/#87>



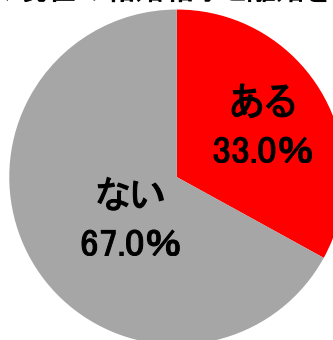
【本件に関するお問い合わせ】

株式会社アイリックコーポレーション 広報宣伝部 山本

TEL: 03-5840-9561 E-mail: branding@irrc.co.jp

■ 調査内容抜粋(一般既婚女性)

Q.現在の結婚相手と離婚を考えた事がありますか。



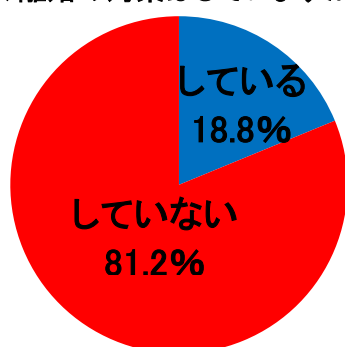
人口動態統計調査によると平成 26 年の婚姻推定数は 64 万 9 千組、離婚推定数は 22 万 2 千組です。現在の結婚相手と離婚を考えたことがあるか聞いたところ、離婚を考えた事がある人は 33%(165 名)で、実際の数値と同じように、3 人に 1 人は考えた事があるとの結果になりました。

また、それは結婚何年目だったかと聞くと、**平均で「結婚 8 年目」、最も多い回答は「結婚 1 年目」(約 20%)**となりました。

その原因は、「価値観・性格の不一致」「お金・仕事関係」「嫁姑、家族関係」「家庭をかえりみない」「子供のこと・夫の浮気」の順でした。

交際している時と結婚後のギャップが離婚を考えるきっかけになっているようです。

Q.離婚の対策はしていますか。



離婚を考えた事がある 165 人に離婚対策をしているか聞いたところ、対策をしているのは約 19%(31 人)のみで、実際は離婚を考えたとしてもその先の行動まで踏み込んでいる人はごく少数です。

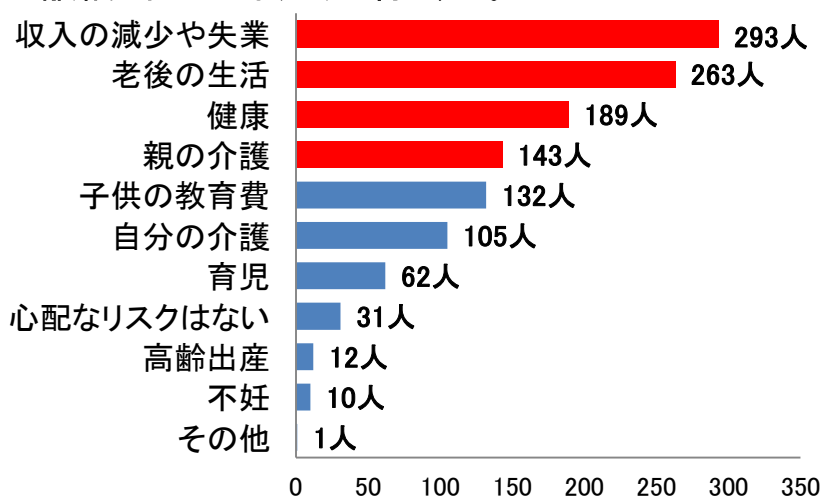
また、その対策の方法としては、31 人中 26 人が**「経済的に自立できるように貯蓄をしている」**と回答しており、以下「働き先を確保(9 人)」「シングルマザーがもらえる補助金を調べる(4 人)」と続きました。

500 人全員を対象に離婚で不安な事を聞くと「子供への影響(約 45%、227 人)」「自分の老後(約 37%、187 人)」を大きく引き離し、「生活費」が約 80% (399 人)を占めていたことも合わせると、やはり離婚となると経済的に自立していないと難しいのが現状のようです。

Q.自分の手元に最低いくらあったら離婚できますか。

平均	1,429 万円
最少金額	0 円
最大金額	5,000 万円
最も多かった回答	1,000 万円

Q.離婚以外で心配なリスクは何ですか。



左記にあげられる心配なリスクに対して、実際に回避するために行動しているかを聞いたところ、準備をしている人は 500 名中、わずか 16.6%(83 名)で、その方法は 1 位「貯蓄」、2 位「保険」でした。やはり、リスクの回避にはお金が付きもの。

「女子のホンネ会議室」第 1 回目の「家計簿のつけ方」でも話に出ましたが、それぞれのリスクの内容や必要となる時期など、目的に応じて貯蓄と保険を上手に組み合わせるのが大切です。一人ですべてを決めるのは難しいので身近に相談できる専門家を見つけることが、リスク回避の近道の 1 つと言えるでしょう。



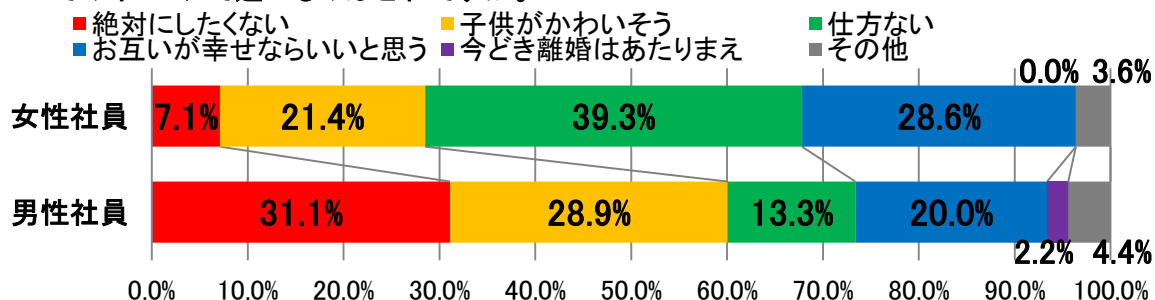
【本件に関するお問い合わせ】

株式会社アイリックコーポレーション 広報宣伝部 山本

TEL: 03-5840-9561 E-mail: branding@irrc.co.jp

■調査内容抜粋(社員アンケート)

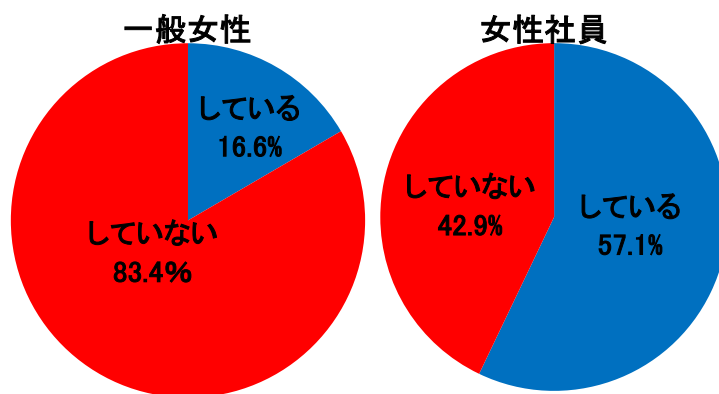
Q.離婚についてのイメージで近いものはどれですか。



まず仕事をしていて経済的に自立をしているという前提があり、女性社員は離婚経験者や既婚で子供がいない社員が男性に比べて多い事も、この結果に反映されていると考えられました。「親に申し訳ない」という選択肢もありましたが、男女ともに回答は見られませんでした。

Q.リスクに対して準備をしていますか。

一般女性に比べて、女性社員は心配なリスクに対する対策をしている人が多く、具体的な対策として最も多かったのは「保険」、次に「貯蓄」「健康管理」が同数でした。万一の時のリスクに対するの保険に加え、貯蓄性の保険を活用し、老後の生活などに備えているという回答も多く寄せられました。



※一般女性へのアンケート調査方法

サンプル数 : 500 名

対 象 : 20 歳～60 歳の既婚女性

調査方法 : Web アンケート

調査期間 : 2015 年 2 月 20 日～2 月 23 日

※本リリースの調査結果や分析をご利用いただく際は『保険クリニック調べ』と明記ください。